第129号
夏休み特集

# 藤枝明誠ニュース

FUJIEDA MEISEI News

発行　学校法人 藤枝学園 藤枝明誠中学校・高等学校 渉外課広報担当／Tel　054-635-8155／Fax　054-635-8494／Email　meisei@fgmeisei.ed.jp／URL　https://www.fgmeisei.ed.jp

## 第108回全国高等学校野球選手権 静岡大会

## 静岡県大会 Best8 熱い夏！ 勝利への想い！

## 感謝！

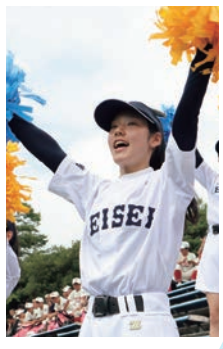
野球部主将
31 HR 青木 豊将
（藤枝明誠中出身）

私たち野球部は、7月4日から7月27日に行われた第108回全国高等学校野球選手権大会に出場しました。結果はベスト8で終わってしまい、甲子園には届きませんでした。

秋・春と情けない結果しか残せず、応援してくださっている方々の期待を裏切ってばかりで、今まで積み上げてきたものを全部壊してしまいました。そのため、最後の夏こそは何が何でも甲子園という形で、今まで支えてくださった方々や、応援してくださった方々に対して恩返しをできるようにしたかったのですが、この大会でも力が足りずに負けてしまいました。しかし、皆さまの応援が力になり、おかげで本当に力になり、背中を押されて、最後まで全力で戦うことができました。

暑い中、私たちのために応援してくださり、ありがとうございました。藤枝明誠高校野球部はまだまだ続くので、今後とも応援をよろしくお願いいたします。

## 熱気と声援



チアリーディング部
キャプテン
34 HR 土屋 那奈
（藤枝明誠中出身）

私たちチアリーディング部の夏は野球応援と同時に始まります。今年もこの季節がやってきた喜びとともに私たちの野球応援が始まりました。

容赦なく照りつける太陽の下、球場は独特の熱気に包まれます。声援や演奏が少しでも選手たちの力になるよう、明誠スタンドが一丸となって応援しました。

チアリーダーの役割は、単に華やかな衣装で踊ることではなく、応援を先導し、笑顔や活気で戦う人を元気づけることです。今回の応援は、私たちが目指す姿へと成長する貴重な機会となりました。この活動を通して、一つの目標に向かって声援を送り続けることの楽しさや一体感を改めて実感しました。

共にスタンドを盛り上げてくださった野球部、吹奏楽部、応援委員会の皆さん、ありがとうございました。

## "熱誠"

応援委員会委員長
38 HR 落合 梨子
（静岡市立長田南中出身）

今年も野球応援に参加しました。多くの生徒が集まる中、声を合わせて選手たちに声援を送りました。応援では校歌や学校への応援歌に合わせた型やエール交換など様々な応援を行いました。声出しを担当する場面もあり、選手たちのプレーを応援しました。

今年は3年生になり応援指導部のリーダーとしての参加でした。昨年は先輩について応援をしていましたが、今年は自分が前に立って声を出し、これまでとは違った緊張感がありました。練習や本番を重ねるなかで、少しずつ自信がつき、この大会に挑めました。

今回の野球応援を通して、みんなで声を合わせて応援することの楽しさを改めて感じました。また、応援団のリーダーとして周りを引っぱる経験ができたことも大きな経験となりました。

活動に協力してくださった先生方、生徒の皆さん、そして野球部のみなさん、本当にありがとうございました。

## 音楽で届けた夏

吹奏楽部
310 HR 長島 衣蕗
（藤枝明誠中出身）

スタンドが一丸となって最後まで野球応援ができたことに、とても感謝しています。炎天下での演奏は体力的に厳しい時もありましたが、懸命にプレーする選手の姿に刺激を受け、最後まで応援を続けることができました。特にチャンスの場面でスタンド全体が一つになって盛り上がったことが印象に残っています。

夜遅くまで練習に励んでいた選手の皆さんがシード校を破り、勝ち上がっていく姿を見て、私たちも多くの力をもらいました。

はじめはうまくいかないことも多くありましたが、より良い演奏ができるよう改善を重ね、音楽を通して応援できたことは、かけがえのない経験となりました。私たちの演奏が野球部の皆さんの力になっていたら嬉しく思います。

最高の夏をありがとうございました。これからも野球部の皆さんの活躍を部員一同心から応援していきます。

# 好奇心とともに挑んだ最高で熱い夏休み！

## 海外留学、ボランティア活動やオープンキャンパス参加などの夏休みの体験を発表

海外留学

### ホバートの学校と暮らしを体験して

英数科プログレスコース
18HR 石川 陽彩
（藤枝明誠中出身）

焼津・ホバート友好協会主催のホバート短期学生派遣事業に参加し、オーストラリアのホバート市で約1週間のホームステイを体験しました。滞在中は、2日間ホバート市のマウントカーメルカレッジに通い、現地の学校生活を体験しました。日本の学校とは異なる授業や学校の雰囲気に触れ、新たな発見が多くありました。現地の生徒と一緒に授業を受けたり、休み時間に会話したりする中で、文化や学校生活の違いを身近に感じることができました。学校以外の時間には、ホストファミリーとマーケットに出かけたり、ボートに乗ったり、ゲームをしたりと楽しく過ごしました。ホストファミリーはいつも温かく接してくださり、私が英語で話そうとすると、優しく聞いてくださいました。言葉がうまく伝わらないこともありましたが、一緒に過ごしたり、遊んだりする中で、言葉だけではなく、時間を共有することの楽しさを感じました。観光だけでは分からないホバートの日常を、現地の学校や家庭で実際に体験できたことは、この派遣事業ならではの貴重な経験でした。特に、言葉や文化が違っていても、一緒に笑ったり遊んだりすることで自然と距離が縮まることを実感しました。

焼津市とホバート市の交流があるからこそできたこの経験を大切にし、これからも異なる文化に積極的に触れていきたいです。



海外留学

### 現地の大学で過ごした刺激的な4週間

英数科プログレスコース
27HR スナンダ メイラ
（掛川市立北中学校出身）

私は中国の大連理工大学で4週間の夏季留学に参加しました。参加者の中で自分を含め高校生は4人、日本からの参加者も2人だったため、最初は不安な気持ちでいっぱいでした。

留学中は大学の寮で生活し、主に中国語の授業を受けました。必要資格の最低ラインで参加した自分にとって、決して簡単な授業ではありませんでした。思うように中国語で伝えられなかった悔しさが、もっと中国語を話せるようになりたい、もっと上の級のHSKを取得したいという、勉強へのモチベーションにつながりました。

また、留学生を多く受け入れている大学だったため、キャンパス内外は多国籍・多文化な環境で、多くの言語が飛び交っていました。ロシアやモンゴルのクラスメイト、現地の学生や先生方とも、中国語と英語を共通の言葉として積極的に交流し、新しい価値観に触れることができ、とても刺激的な毎日でした。最初は不安だった4週間が、最後には帰りたくないと思うほど充実した時間になりました。

今回海外の大学で実際に1か月生活できた経験は、以前から興味を持っていた本科留学を考える上で、大きな判断材料となりました。最初は不安だった環境にも、自分から踏み出すことで多くの学びや新しい発見があることを実感し、この経験を将来に生かしていきたいです。

海外研修

### 環境問題を解決するために

英数科国際教養コース
25HR 加藤 寧々花
（掛川市立東中出身）

私は藤枝市の「次世代環境リーダー育成事業」の一環として、8月17日からの6日間、ハワイ・オアフ島を訪れました。脱炭素と自然環境の未来を考えることをテーマに、様々な活動に参加してきました。

オアフ島の廃棄物処理・リサイクル施設を見学し、日本とハワイのごみ処理方法の違いを学びました。日本は国内で廃棄物の埋め立てや金属の再利用を行うのに対し、ハワイは地理的な理由から廃棄物や使用済み金属を海外へ送り、リサイクル・再利用していることがわかりました。また、実際にビーチを訪れてビーチクリーン活動を行ったところ、非常に多くのプラスチックが漂着しており、マイクロプラスチックもハワイに流れ着いている事実を知りました。プラスチックが海洋生物に与える悪影響について改めて考えさせられました。現地の方へのインタビューでは、ハワイの人々が昔から自然と共存してきたという思いを強く持ち、自然を思いやる姿勢が根付いていることが印象的でした。

日本とハワイの自然環境への考え方、リサイクルやごみ処理方法の違いを、実体験を通して学べたことで、環境への意識や日本の廃棄物に対する考え方を見直す機会になりました。この経験を身近なごみ問題を考えるきっかけにしたいと思います。

一日体験

### 看護という仕事を体験して

英数科プログレスコース
28HR 伊藤 海倭
（藤枝明誠中出身）

私はこの夏休みに、藤枝市立総合病院で行われた看護一日体験に参加しました。総合病院で実施された看護一日体験では、在籍の看護師さんの傍で看護職を体験し、直接入院している患者さんや先生方のお話を聞くことで、参加前には想像もつかなかった「看護師として働く」という自覚を持つことができました。

看護職体験は、看護師さんと生徒が1対1で行動し、病棟の患者さんを回り、カルテを書きました。患者さんの中には病気の症状が重い人から軽い人、自分で行動できる人やできない人のような様々な人がいましたが、看護師さんはそれぞれの人に適した話し方や接し方で自分のペースではなく患者さんのペースに合わせてコミュニケーションをとっていました。

その光景を見て改めて人との接し方の大切さがわかりました。また、看護師さん達は日々「常に〝どうしたら患者さんが安心して入院できるか〟を考え続けながら仕事をしている」とお話しされていました。実際に看護という仕事を体験することで必要となる知識やコミュニケーション能力、技術に触れられたことでより看護師に興味が湧き自分の目標がはっきりしました。

この貴重な病院体験を通して、藤枝市立総合病院で働く看護師の魅力を強く感じました。

患者様に寄り添う看護師になる夢を実現するため、この経験を忘れず来年にある大学入学共通テストに向け、勉強と部活を両立しながら日々の学校生活を送っていきたいと思います。

オープンキャンパス

### 地域との共創に向けて

英数科プログレスコース
27HR 五十嵐 湧
（静岡大学教育学部附属島田中出身）

私は夏休みを利用して茨城大学人文社会科学部のオープンキャンパスに参加しました。茨城大学には農学部がある阿見キャンパス、工学部がある日立キャンパス、人文社会科学部や理工学部がある水戸キャンパスの3つがあります。

水戸キャンパスは旧陸軍兵営跡地に作られた約12万平方メートルの広さを持つキャンパスです。水戸キャンパスでは水戸（徳川）斉昭の展示が行われていました。水戸斉昭は江戸時代後期の水戸藩（現在の茨城県）の藩主です。最後の将軍、徳川慶喜の父親で、藩政改革に努めたり日本三庭園の一つの偕楽園を造園したりしました。地方国立大学では近年、地域社会と共に未来を創る共創の動きが活発化しています。茨城大学ではその活動の一環として、後継者不足などが原因で管理しきれなくなった文化財を購入し管理をするという活動を行っています。この活動は地域の歴史を守り、地域とより深く繋がることができます。さらに多くの学生が歴史に対して興味関心を持ち、実地学習の機会の増加にもつながり、大学の歴史の研究や地域共創の動きが地方の担い手不足という問題に一石を投じる良い例だと思います。

今回のオープンキャンパスでは自分の志望する大学を見るという個人の目的にとどまらず日本の地方国公立大学の大きな流れを知るとともに、大学と地域の付き合い方という新たな観点について考える良い機会になりました。私もこれからの大学選びの際には地域との関係性や、自分の未来にどう関わっていくかを考えながら選び学んでいきたいと思いました。

オープンキャンパス

### 私のオープンキャンパス

普通科リベラルHSコース
24HR 眞田 裕功
（さいたま市立三室中出身）

私は、この夏多くの貴重な体験をさせてもらいました。私は芝浦工業大学のオープンキャンパスに参加しました。実際にキャンパスのなかを歩き、自分の目でいろいろな学部や学科・コースを見学することで芝浦工業大学のことをよく知ることができ、進学したいと思うようになりました。私が参加したシステム理工学部では、様々なコースがあり、多くの学問を学ぶことができる学部でした。説明のなかで教授が「大学は様々な問題を持ち、それを解決していく場。問いを持つことは社会にも役立つことおっしゃっていました。私はこの言葉に感銘を受け、ここなら自分も成長できるかもしれないと思いました。

さらに研究室公開では大学生の方々に優しく助けられ、温かい雰囲気で研究に打ち込んでいる様子がうかがえました。また、オープンキャンパス後に大学の周辺を散策してみると、芝浦工業大学の周囲は生活に便利な環境で充実した大学生活が過ごせるように感じました。

今回、オープンキャンパスに参加することで実際に大学を見学しなければわからない魅力をたくさん感じることができ、興味を持っていた大学に実際に進学したいと感じるようになりました。この目標を達成するために、日々の学習に集中して取り組んでいきたいと思います。

# 折り返し地点の『自己分析』と覚悟

## 4月に入学して半年。藤枝明誠で経験したこと、学んだこと。

### 半年間の経験と成長

普通科 14HR 田上 ルウト（名古屋市立原中出身）

高校に入学して半年が経ちました。この半年間、学校生活に加え、寮生活やサッカーを通して多くの経験を重ね、成長を実感しています。なかでも大きな変化は、自分で時間を管理し、責任を持って行動する力が身についたことです。

寮では家族と離れて生活するため、洗濯などの身の回りのことも自分で行う必要があります。入学当初は、慣れない生活のなかで時間をうまく使えず苦労しましたが、優先順位を意識し、計画的に行動するよう心掛けました。その結果、限られた時間を有効に使えるようになり、自ら考えて行動する力が身につきました。

また、サッカーと勉強の両立にも力を入れています。練習で疲れている日でも空いた時間を活用して勉強し、サッカーでは自分の課題を克服するために自主練習にも取り組んでいます。

両立の難しさを感じることもありますが、日々の積み重ねを大切にしています。こうした取り組みを通して、継続することの大切さや、目標に向かって努力する姿勢を学びました。

これからは時間の使い方をさらに工夫し、勉強とサッカーの両面で成長していきたいです。そして、支えてくれる家族や先生、仲間への感謝を忘れず、残りの高校生活を充実させていきます。

### 『紙を積み重ねる』ように

英数科アクティブASコース 16HR 仁藤 陽菜子（牧之原市立相良出身）

藤枝明誠高校に入学して半年が経ちました。最初は不安と緊張があった高校生活ですが、今ではクラスのみんなと仲良く協力しながら生活しています。私たちのクラスは男子40人、女子5人と男女の人数差が大きいですが、宿泊研修や文化祭、球技大会などを通して男女関係なく新しい友だちができ仲を深めることができました。

今までの半年間の生活を振り返って、これから意識したいことは時間の使い方です。特に、部活動と勉強を両立し、部活動をしながらも勉強時間を確保できるようにしたいです。

勉強では中学時代と比べ授業の進むスピードが速く、難易度も上がったため授業だけでは理解できないところも増えてきました。これからは授業はもちろん、自主学習の時間を特に大切にしていきたいと思います。

また部活動では、私は吹奏楽部に所属し日々練習に取り組んでいます。強豪校と比べ私たちは毎日多くの時間を練習に使えるわけではありません。そのため自分が、今何ができなくて、何をするべきなのかを考えて練習していきたいです。毎日の練習を大切にし、「一日一枚の紙を積み重ねる」ように努力していきます。

### 自分と戦う

英数科プログレスコース 17HR 伊藤 湊（掛川市立北中出身）

高校に入学することに不安や喜びを感じたあの日から、半年が経ちました。長いようであっという間だったこの半年間、成長したところはどこかと問われても自信を持って返答することは、今の自分にはできません。

中学時代は自分に甘いというよくない面が出て、テストで思った点数が取れない時期が続いていました。その短所を克服するため、中学3年生では家庭学習の時間を増やしたり一日のスケジュールを立てたりすることを継続させていました。

高校入学後も積極的に勉強していました。しかし7月から夏休みの期間で甘さが出ました。「まぁいいか」と過ごすうちに少ない勉強時間が当たり前になってしまいました。自分を変えるという強い思いで始まった高校生活を半年も無駄にしてしまったことに今さら後悔しています。しかし時間は戻りません。だからこそ本当にここで自分を変える必要があると思いました。夏休み後からは毎日学校に残り復習や予習をしています。過去2回の失敗を活かし、自分を変えるために努力していきたいです。そして、楽しむ時と集中する時の区別をはっきりとして高校生活を笑顔溢れる最高の3年間にします。

青藍祭

入学式

## 東京グローバルゲートウェイ

### 英語で伝えることの大切さ

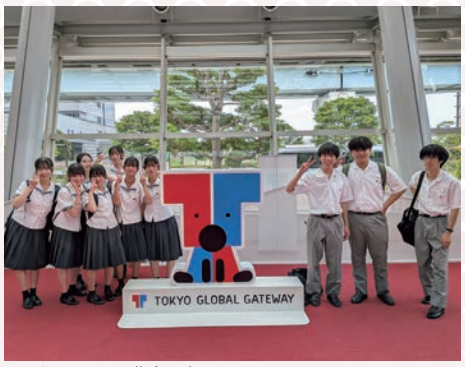
英数科国際教養コース 25HR 柿本 美瑚都（焼津市立小川中出身）

私たちは8月24日に、東京・青梅にある東京グローバルゲートウェイで研修を行いました。

研修中は日本語を使うことができず、英語のみでコミュニケーションを取る必要がありました。施設にはレストランや薬局など、日常生活で実際に起こりうる場面を想定したエリアがあり、エージェントとよばれる外国人の先生方と一緒に英語でのコミュニケーションをして英語力・会話力を向上させました。

例えば、レストランで注文した料理が間違っていた場合に、自分にはアレルギーがあることを英語で伝え、別の料理に変更してもらう場面を体験しました。最初は英語だけで会話することにとても緊張し、知っている単語を使っても相手に伝わらないこともありました。しかし、ジェスチャーを使ったり、知っている英単語を組み合わせたりすることで、自分の伝えたいことを理解してもらうことができました。この経験から英語では文法や発音を正しくすることだけでなく、相手に伝えようと工夫することが大切だと学びました。この経験を生かして、11月にあるブリスベンの修学旅行では間違いを恐れず、積極的に英語を使い、自分の気持ちや考えを工夫しながら伝えられるようにしたいと思います。

外国人の先生とレッスンの振り返り




エントランスでの集合写真

## イングリッシュ・サマー・キャンプ

### 未来への財産

英数科国際教養コース 15HR 杉本 虹心（焼津市立大富中出身）

私たち15HRは、8月18日から21日の4日間、イングリッシュサマーキャンプに参加しました。私たちは、最終日に行われるSDGsに関するプレゼンテーションをゴールとし、各々が高い目標を持ちながらこの活動に取り組みました。1日目は、単語やレッスンの予習をし、2日目からは、講師をお招きして、クラス全体から2チーム、そこからさらに3･4人のグループに分かれて活動を行いました。レッスンでは、文章を読み、それに対する自分の考えをグループ内で共有し、考えを深めました。それとともに、2日目から、プレゼンテーションの準備を行いました。

私たちは、まずSDGsに関連した情報を集め、次に日本語で文章を起こす人・英語に訳す人・AI等を活用し文章をチェックする人にわかれ原稿をまとめ、その後スライドを作成し、最後に視線や話す速さ、動き、話し方を意識しながら練習を繰り返し、本番ではベストを尽くし、わかりやすく説得力のあるプレゼンテーションをすることができました。

この活動を通して、英語力だけでなく、思考力や表現力、説得力も身につけることができました。この価値のある経験を自分の成長につなげていきたいです。

最終日のプレゼンテーション

サマーキャンプを終え、修了証を授与されました

SCHOOL REPORT

## 大洲小学校・大洲中学校で学習ボランティアに参加

8月3日に大洲小学校、8月5日、6日に大洲中学校、高洲中学校で夏の学習会が開かれ、本校の高校生が学習ボランティアとして多くの生徒がボランティアを希望して参加しました。

今回の学習会では小学生・中学生合わせて92人が参加してくれました。小学校では帰る際に「また来てね」という声を聞くことができました。参加した高校生も「小学生が、解けなかった問題が解けたときに喜んでもらえてうれしかった」等の感想を持ちました。

高洲中学校では多くの中学生が参加し、2つの教室を利用しての学習会となりました。英語と数学に分かれて行いましたが、「高校生が自分のペースに合わせて教えてくれたからわかりやすかった」などの感想を言ってくれました。また、高校生からは「初はコミュニケーションをとることが難しかったけれど、問題が解けなくて悩んでいるときに積極的に声をかけるようにしたら少しずつ打ち解けることができた」などの感想がありました。高校生にとって2時間あまりの時間でしたが、貴重な機会となりました。

意欲的な活動をする生徒たちを応援するため、ご協力をお願いします。

## ご寄付のお願い

藤枝明誠中学校高等学校では部活動への支援や教育施設・設備整備のための寄付金を募集しております。詳しくは学校ホームページまで。
（寄付金額に応じて税制上の優遇措置を受けることができます。）

### 寄付募集要項

目的／学教育環境の充実を図ることを目的とします
使途／施設・設備等の整備や部活動への支援のため
募集期間／令和9年3月31日まで
寄付方法／現金または振込でお願いします

■ 詳しくは学校ホームページをご覧ください
https://www.fgmeisei.ed.jp/donation/

# USAチアリーディング&ダンス学生新人大会2026CENTRAL

## 高校編成 Show Cheer部門 Novice 第1位

## 目標達成!!

普通科リベラルHSコース
34HR **田中 愛凛**（藤枝市立藤枝中出身）

私たちチアリーディング部は8月1日に行われたUSAチアリーディング&ダンス学生新人大会2026CENTRALに出場し、優勝しました。

この大会は高校3年生にとって最後の大会でした。例年より20日ほど早い開催だったため、圧倒的な練習日数の少なさに不安と焦りがありました。それでも、このメンバーで作り上げる最初で最後の演技を完璧に仕上げるために、蒸し風呂のような体育館で浴びるような汗をかきながら全力で練習を頑張りました。

私たちは青リボンの獲得を目標にしています。青リボンは92点以上で得られるものですが、Daisiesは毎年あと一歩というところで届かずに悔しい思いをしてきました。今回、私たちは本番最高の演技をし、初めて青リボンを獲得することができました。

これは私たちの技術だけではなく、周りの方々の支えがあったからこそ達成できた目標でした。本当に嬉しかったです。

# 2026 夢へ躍進 青春の夏 近畿総体 2026!

## 令和8年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会

### 4年連続15回目のインターハイ出場を果たす。

普通科総合コース
31HR **永田 貴陸**（千葉県八千代市立高津中出身）

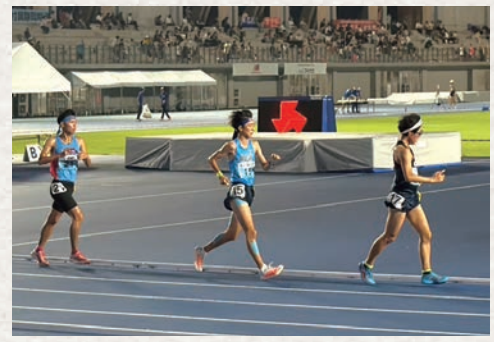
私たちは7月27日から開催された大阪インターハイに出場しました。初戦は駒大苫小牧、2回戦は箕面学園相手に自分たちの持ち味である堅い守りから速い展開のバスケットを体現することで勝利に繋がり、3回戦に進出することができました。しかし、3回戦では中部第一に67対84で敗れ、結果としてはベスト16という形で終わってしまいました。

大会を振り返ると1、2回戦と自分たちの持ち味を発揮できた場面はあった一方で、強い相手に対して最後まで自分たちのバスケットボールを貫く力や、苦しい時間帯に我慢し、流れを呼び寄せる力がまだまだ足りないと感じました。

全国の舞台で2勝という結果に満足することなく一人ひとりが自分の課題と向き合い、冬のウィンターカップに向けて成長していきたいです。インターハイで味わった悔しさを忘れず日々の練習から全員で意識を高め、ウィンターカップでは日本一を達成します。

## 令和8年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会

### 5000m競歩種目で全国大会へ!



## 駆け抜けた夏

普通科総合コース
31HR **仁多見 粋鳳**（藤枝明誠中出身）

私は7月30日から8月5日に行われた全国高校総体の5000mWに出場し、22分19秒でゴールすることができました。初めて全国の舞台で競技することができ、とても貴重な経験になりました。しかし、目標としていた自己ベストを出すことができず、悔いの残る試合となりました。今回の大会を通して、全国大会で戦うことの難しさや、自分に足りない部分を改めて感じることができました。また、ここまで競技を続け、全国大会に出場することができたのは、日々一緒に練習してきた仲間や、支えてくれた家族、熱心に指導してくださった指導者の方々のおかげです。

今回の経験を無駄にせず、悔しさをこれからの成長につなげていきたいです。そして、この経験をバネにして、自分の課題と向き合い、これまで以上に練習に励んで、次の大会では自己ベストを更新できるように努力します。

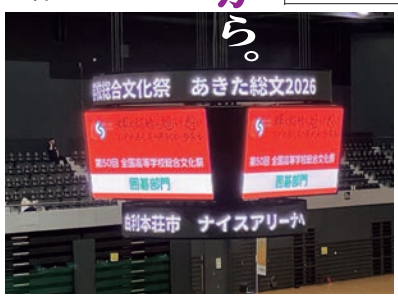
## 第50回全国高等学校総合文化祭 あきた総文2026 囲碁部門

## これまでと、これから。

英数科プログレスコース
310HR **清水 小春**（藤枝明誠中出身）

私は7月28日、29日に秋田県で行われたあきた総文2026囲碁部門に静岡県代表として出場しました。私は浜松北高の生徒2名と団体戦に出場しました。秋田県は自然豊かなところで、私が泊まったホテルからは日本海を見ることもできました。実は4月1日に打って以来、約4ヶ月ぶりの試合で、どこまでできるかは全くの未知数でした。本来出場するはずだった友人が大学受験の勉強に専念するために出場を辞退したので、高校の全国大会に一人で出るのは初めてでした。小学生の時から一緒に切磋琢磨してきた友人の思いも背負い挑んだ大会でした。2日間にわたり計6局、結果はすべて勝ち、6戦6勝でした。高校最後の大会で最高の結果を残すことができました。

11年間、勝って結果を残すために続けてきた囲碁。この経験は私にしかないものです。これまでは競技として、これからは娯楽として、何年先まで続けていきたいです。




## 藤枝明誠中学校・高等学校吹奏楽部 第37回 定期演奏会

## この仲間と、この舞台で!

英数科国際教養コース
36HR **倉嶋 凛**（焼津市立大井川中出身）

私たち吹奏楽部は、8月19日に第37回定期演奏会を開催しました。例年とは異なる時期の開催となり、短い準備期間ではありましたが、一日一日の練習や準備を大切にしながら本番を迎えることができました。中学生から高校生まで、部員全員がそれぞれの役割を果たし、一つの舞台を作り上げました。学年を超えて活動する中で、同じ目標に向かって頑張れる仲間がいることは、決して当たり前ではないと感じました。本番では、全員で演奏できる喜びと、私たちの演奏を聴いてくださる方がいることの嬉しさを改めて感じました。この舞台を作り上げることができたのは、先生方、保護者の方々、OB・OGの方々など、沢山の方々の支えがあったからです。支えてくださった皆様、会場に足を運んでくださった皆様に心から感謝しています。

演奏会で得た経験と仲間との時間を大切にし、これからも活動していきます。今後とも吹奏楽部へのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

## 第11回東海ビーチバレーボール選手権大会静岡県予選 長峰・木名瀬ペア第3位（東海大会出場権獲得） 近藤虹・近藤龍ペア第4位

## 結果につながった県大会

英数科プログレスコース
28HR **木名瀬 壮佑**（藤枝市立高洲中出身）

7月、ビーチバレー県大会に出場しました。この大会は上位3ペアが東海大会への出場権を獲得できるというものでした。初戦、2回戦は自分たちの持ち味であるディフェンス面から流れをつかみ勝利、そして3回戦の相手は何度も対戦している因縁のペアでした。

ただ今回はサーブを起点に攻撃で点を重ね、相手を終始圧倒し念願のベスト4入りを果たしました。しかし準決勝、ミスが続き惜しくも決勝進出は逃してしまいました。

東海大会の残り1枠をかけた最後の戦いは、藤枝明誠同士の戦いとなりました。最後は楽しく終わろうと戦い切り、東海大会出場を決めました。段々と力をつけられていることを感じ、ここで結果につながったことを嬉しく思います。

ここで最後まで戦い抜いたことを糧に、インドアバレーでも頑張ります。

志太起業ネットワーク推進協議会

## 「志太ビジネスハイスクール」

### 大規模な地域循環型マーケット

普通科リベラルHSコース
33HR **中野 莉希**（焼津市立豊田中出身）

私は、夏休み期間中に5回に分けて開催された「志太ビジネスハイスクール」というコンクールに4人でグループを組み参加しました。このコンクールは高校生の目線から地域課題を見つけ、その解決方法をビジネスという面から探し、解決案を作るというものです。私たちのグループでは、藤枝の地域復興を目指す事業の一環として「大規模な地域循環型マーケット」を考えました。家庭で不要な物などを売るリユースショップ、自分のハンドメイド品などを売るクリエイトショップ、そして地域特産を集めたフードショップといった、この3つのショップを一つにまとめたマーケットの事業を提案しました。審査員の前でのプレゼンテーション、実施後の質問などはとても緊張しましたが、最終的に「おびサポ賞」をいただきました。この活動は地域について深く考える良い機会となりました。この経験を大学入試に向けても活かしたいです。

【ライフル射撃】
ビーム・ライフル少年男子立射60発競技

### 高校最後の大会

普通科リベラルHSコース
34HR **秋山 和輝**（藤枝明誠中出身）

私は、9月７日から青森県で開催される国民スポーツ大会の射撃競技に出場させていただきます。明誠中学校で射撃を始めて5年間、その集大成となる大会となるため、良い戦績を残したいです。しかし、夏休みの大会で思うような戦績を残すことができていません。次に向けての練習を行わなければいけない残りの夏休み期間には、色々な問題が発生しました。練習や記録会などに参加できなくなってしまったことも多く、調整や修正を行う期間を潰してしまいました。練習できない期間はとても悔しい思いをしましたが、切り替え、練習の代わりにできることにも集中していきます。前回の大会の反省を活かし、これまで以上の戦績を残せるよう、最後まで努力を怠らないようにしていきたいです。

【サッカー】
少年男子

### 国民スポーツ大会に向けて

英数科アクティブASコース
16HR **松本 優誠**（掛川市立北中出身）

私はサッカー少年男子の静岡県代表として、7月に行われた国民スポーツ大会の東海ブロック代表決定戦に出場しました。昨年冬頃から活動を始め、メンバーの入れ替わりがありながらも、長い期間コミュニケーションを取り、良い雰囲気で試合に臨むことができました。一人ひとりが自分の武器を発揮し、チーム全員で最後まで戦い抜いた結果、本大会出場を決めることができました。昨年の先輩方は決勝戦で敗れ、優勝を逃しました。私たちは様々なキーワードの下、先輩方の結果を超え、「サッカー王国」静岡の魅力を全国に届けられるよう、一試合一試合全力で戦います。

## AOMORI 2026 国民スポーツ大会

第80回国民スポーツ大会が10月10日よりスタートします。頑張ってください!